

第88回 世界の人とふれあい



パキスタンイスラム共和国

ゲスト：サリーム・アハマッド・バッティ
(Mr. Saleem Ahmed Bhatti) さん

日時：7月8日(日)13:30～15:30

会場：八王子市学園都市センター第5セミナー室

ゲストのバッティさんは、19歳の時に日本に来てました。来日した当初、日本語学校で半年間勉強し、半年後に貿易会社“B.M.Company”を設立しました。現在は代表取締役として、自動車(輸出入)・食品・宝石(輸入)や海外の不動産投資等に携わっています。また八王子マスジット・アウ・タヒード・モスクの責任者として16年活動し、八王子に住み3人の子供を育てています。



パキスタンは、シルクロードを通して盛んに交易を行い多様な民族や文化が交わった国です。面積は日本の約2倍です。首都はイスラマバードで、イギリスの植民地支配からインドと共に分離・独立しました。人口は2,077億、30歳未満が64%です。

パキスタンの国旗は、1906年に制定された「全インディスラム教連盟」の党旗の影響を受け、1947年の独立時に正式に決定されました。縁はイスラム教を象徴する色で繁栄をあらわし、白は平和、ホイスト(旗竿)側の白帯はイスラム教徒以外の少数派の存在を示しています。三日月と星はイスラム教のシンボルで、パキスタン国旗の愛称は「縁月旗」とも言われています。なおPAKISTANTとは、各州の名前の頭文字から取って名付けられ、公用語はウルドゥー語と英語です。忘れてはならない人物としては、ムハンマド・アリー・ジンナー(1876～1948)氏がいます。



彼は「カーティ・アーザム：最も偉大な指導者」で「バーバーイエ・コウム：建国の父」とされています。日本との外交関係は2002年にパキスタンのムシャラフ大統領が来日し、2005年に小泉首相がパキ

ムハンマドアリー・ジンナー氏 スタンを訪問したこと、核実験以来停止されていた有償資金援助が再開されました。

2つの日本語学校があり、1校は世界で4番目に設立された「在カラチ日本国総領事館付属小学校」、もう1校は「在パキスタン日本国総領事館附属イスラマバード日本人学校」です。

パキスタンは4つの州と2つの連邦直轄地域と2つの実効支配領域に分けられています。

1) バローチスタン州はバローチ人が居住している州です。州都



はクエッタで州内最大の都市です。この州は国内への天然ガス主要供給地として知られています。

クエッタの市街・郊外を走る旅客列車やハンナレイクとパキスタンナチュラルスフィンクスが有名です。
2) カイバル・パクトゥンクワ州、この州名には“無学の部族が自由気ままに住んでいる”「文明の及ばない地の果て」という意味が含まれています。



郊外を走る旅客列車



タフテ・バヒーの仏教遺跡群



ラホールの城塞



カラチ市官庁街



モエンジョ・ダーロ

イスラマバード首都圏では、10万人もの礼拝が可能な世界最大規模のモスクのファイサル・モスクや、ダスクのモニュメントが有名です。日本と同じで春夏秋冬(四季)があります。

世界に14ある8000m以上の山のうち5つがあります。ピークの大部分はカラコラム山脈にあります。

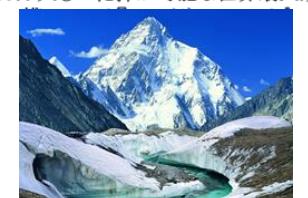
農業は、主にパンジャブ、シンドの平原地帯で、主要な作物は綿花、サトウキビ、小麦、コメ、タマネギなどが有名です。

アンケートの結果は「見たことない映像が沢山ありとても楽しかった」等、大変好評でした。

(世界の人とふれあいタイム委員長 生山龍哉)



10万人もの礼拝が可能な世界最大規



K2 世界第2位峯